



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリー・クラブ
2012～2013年度

会報

全員積極参加でロータリーを楽しもう！



2012.10.24. 第1033回例会 No.23-15 2012.10.31発行

司会 SAA・親睦委員会 大松 誠二

点鐘 会長 澄川 昇

ロータリーソング「日も風も星も」
ソングリーダー 菊池 敏

お客様紹介 会長 澄川 昇
東京中央RC 小松 良樹 様
岡山西南RC 椎原 裕二 様
オーディオユニオン町田店店長 中川 寛信 様

会務報告 会長 澄川 昇
10月22日(月)第5回多摩東グループ協議会の内容を報告させていただきます。

次年度の青少年交換留学生のホストクラブを選定するため協議した結果、武蔵府中RCに決定しました。

GSEの方々の例会体験について、武蔵府中RCと調布RCが、受け入れクラブとして承認されました。

当地区の復興支援のプロジェクトとして

・東京狛江RC 大湊市内の小学校に動物カレンダーを贈呈(予算525,000円)

・東京多摩RC 福島県二本松市で浪江町の方々へ「癒しのコンサート」開催(予算600,000円)

が申請されております。

幹事報告 幹事 荒瀧 義機

回覧:ポリオTシャツ申込書

他クラブ例会変更:東京飛火野RC

(詳細につきましては事務局へお合せ下さい)

<訃報>

当クラブ元会員、パスト会長並びにチャーターメンバーでありました 横倉 舜三 様が10月20日にご逝去されました。当クラブでの活動貢献に深く感謝申し上げ、慎んでご冥福をお祈り申し上げます。 << 黙 禱 >>

【委員会報告】

出席報告 出席奨励委員長会 吉沢 洋景

会員総数	35名
出席義務者数	25名
出席義務免除者	10名
出席者数 出席義務者	19名
出席義務者事前 MU	2名
出席義務免除者	8名
計	29名

出席率 29/33 = 87.88%

第1031回例会(3/10)訂正出席率 86.20%

ニコニコBOX SAA・親睦委員会 小田 泰機

澄川 昇 東京中央RC 小松さんようこそ。

中川さん本日の卓話よろしくお願い致します。

荒瀧 義機 中川寛信様卓話よろしくお願い致します。
萩生田政由 エーオヤジー、コチャサー コイヨー
(八甲田山ホテル)に妻と行って来ました。全山が錦絵でした！

関岡 俊二 中川様卓話楽しみにしています。
菊池 敏 先週のデュエットでのお釣りで。タスキかけたまま帰らないように しましょうネ。

宮村 宏 中川様卓話楽しみにしています。
齋藤 誠壽 インフルエンザシーズンに間もなく入ります。予防接種はお済ですか？

津守 弘範 中川寛信さん卓話よろしく 楽しみにしております。

小泉 博 お客様ようこそ。
11/28 スクラッチ会やりますゴルフ同好会の皆さんふるって参加して下さい。

村上 久 中川様卓話楽しみです。

本日の合計¥ 14,000 (累計¥345,049)

その他委員会

会員表彰



米山功労者

第5回マルチプル

海野 榮一会員

SAA・親睦委員会

委員長 菊池 敏

・先週SAA親睦委員の方にはお知らせしましたが、本日例会終了後に、クリスマス会の打合せを行いますのでデュエットにお集まり下さい。

ゴルフ同好会

部長 小泉 博

<第78回スクラッチ会 開催のお知らせ>

- ・ 11月28日に東京国際ゴルフ場にて開催します。ふるってご参加下さい。
- ・ 先日、クラブとしてご案内した、ソロプチミストの参加の皆様、そして東グループ参加の皆様お疲れ様でした。

卓話者紹介

プログラム委員長 齋藤 誠壽

本日は、私の趣味でもあります、ハイエンドオーディオの世界についてレコードの歴史とともにお話していただく為に音楽と音の専門店として老舗でもあります、オーディオユニオンの町田店、店長の中川様にお越し頂きました。

卓話「レコードの歴史とハイエンドオーディオの世界」

中川 寛信様

ハイエンドオーディオ製品をつくるメーカーは世界に数多くありますけれども、いずれも、徹底的にこだわった音質作りをしております。価格ではアンプやCDプレーヤー単体で数百万円を超えるモデルも発売されています。

スピーカーひとつにしても、入った信号に対して正確に振動板が動くためには、磁石の大きさであるとか、コイルの巻き数であるとか、厳密につくらなくてはなりませんし、動いた振動板がゆがんだりしないように、きちんと動く材質であるとか形状であるとかを非常に細かく作らなくてはならないといった、大変細かい気遣いと部品が投入されています。レコードの針先であるとか、アンプであるとか、CDプレーヤーであるとか全ての面にこだわりがあり、コストが非常に高くなってしまう、ということが我々販売するものにとっても、いい音質のものは欲しいけれども、



なかなか高くなると売れない、買いにくい、という部分もあり、仕方がないことなのですがそれが現状でございます。

こういったハイエンドのオーディオを愛好するオーディオファンが、どこに価値を置くかということなのですが、味覚の優れた方というのは、料理の味とか隠し味を楽しむことができますし、水の違いなどにもこだわることもできるのと同じように、オーディオファンというのも再現される音に対してこだわりをもっておりまして、自分の理想とする音とか音の空間と言うものを、いかに再現するかという事を工夫するものです。

それは単に良い機械を揃えればいいのかというと、それだけではなくて機械のつなぎ方とか置き方とか、部屋の工夫であるとか、そういったものにまで非常に細かく気を配っております、それがその人のテクニックであるということになって、こだわる人はオーディオのコード1本、普通であれば数百円のものを数万円、数百万円のものを投入する人もいるくらい、こだわるところがございます。

はたして、そこまでこだわって音を聴くことが必要なのかと、普通の人はそう思うはずですが。何百万とお金をかけるのであれば、実際にコンサートなどに行って音を聞いてしまえばいいと、それはそれで、生の音なのでいい音が聴けるだろうと、思うこともあるかもしれませんが、あえてそこに、自分の再生する音にこだわって、価値を見出すのが、この趣味のおもしろいところだと思います。

カメラや写真が趣味の方もおそらく、カメラですとかレンズにこだわりまして、よいシャッターチャンス求めて苦勞すると思います。一枚の写真を見たときに、普通の人であれば、きれいだねで済むのが同好の人がみれば、どれだけの苦勞が隠されているのかわかります。ハイエンドオーディオも同じで、普通の人聞いても、ああ、すごく良い音だね、と言いますが、どこがどう良いのかというのは、なかなか解らないで漠然としてしまいます。同じオーディオファンであれば、その人の再生音を聴くと、どういうところに苦勞しているのがよくわかり、マニア同士で共感できるところがあります。

ハイエンドオーディオというのは、機械も重要なのですがそれ以上に、大切なことは、愛好する人の再生テクニックであって、再生するものというのは、その人がイメージする音の世界そのものであります。その人のイメージする世界というものは、過去によい音を聴いたとか、何か感動したとか、経験とか知識からつくられるものであって、ある意味ではその人の人格そのもの、人生そのものであるとも思っております。

もし、何かの機会に誰かのオーディオルームをのぞくようなことがありましたら、是非その人の音を聴くと同時に、そのオーナーの方が、どういうポイントを工夫して再現したか、どういうことを求めているのか、を聴いてもらうことをお勧めします。そうすれば、ハイエンドオーディオのおもしろさというものがより深く感じることはできるのではないかと思います。

お礼と点鐘

会長 澄川 昇

(今週の担当: 小泉 博)